

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズパーク福岡東校		
○保護者評価実施期間	令和7年2月14日		～ 令和7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	令和7年2月14日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 14人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動能力や社会性を養うためにプール、運動、体育館の日を週に1回設定している。また、公園などにも頻繁に出かけ地域の子どもたちと交流することができるようにしている。	順番を守ってする運動(トランポリン、鉄棒など)を通して、運動能力を養うだけでなく、ルールや団体で行動する力を身につけさせ、社会性も育てている。	子どもの特性を意識した運動内容を職員全体が共有できていないことがあるため、ミーティングなどを通して周知徹底を図る。
2	言語・コミュニケーション能力を養うために英会話教室を取り入れている。	・子どもたちの参加意欲を高めるようにスタッフが率先して楽しい活動であることをアピールしている。 ・外部講師による英会話活動であるため専門性の高い英会話教育が可能である。	専門性の高い英会話活動であるが、子どもたちの参加が少ないため、外部講師と協議して、意欲的に参加ができるような学習内容を考えていく必要がある。
3	イベント時の活動を通して、全体で行動することの楽しさを伝えるようにしている。	お出かけを計画するときは、地域の様々なイベントを調べ、子どもたちが意欲的に取り組むことができそうなものを考えている。	お出かけ場所が決定した際に、イベントの内容、周囲の環境などをさらに細かく調べスムーズに活動できるようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの活動範囲に応じた事業所スペースの確保が不十分である。	物品の配置や必要性を職員全体で話し合う時間が取れていない。	子供たちが十分に活動できるように物品の再確認、配置を見直す必要がある。
2	事業所において家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少なく、家族支援が不十分である。	「家族等も参加できる研修会や情報提供の機会」を活動として提供できていない。	保護者全員が参加することは不可能と思われるので、SNSを活用して情報を共有したり、送迎時に話を聞くなどして家族支援を行っていく。
3	子どもたちが集中して学習する環境が不十分である。	学習時間が個々に違うためと区切られた学習場所の確保が困難なため。	限られたスペースを有効に活用する工夫が必要である。